

あ
り
が
と
う
を
届
け
た
い

第12回
かながわ感動介護大賞
作品集

かながわ感動介護大賞実行委員会

付 録
第11回
最優秀賞作品
漫画化!!

はじめに

おかげさまで、第12回を迎えた「かながわ感動介護大賞」。

今年も、高齢者の方やご家族、介護職員の方々から、たくさんのエピソードを寄せていただきました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へと移行してから2年が経とうとしているところですが、介護職員の皆さんには、今も緊張感をもって、日々、一生懸命業務にあたっているところだと思います。

こうした中、「介護フェアinかながわ」で、受賞された方にお目にかかり、表彰式を挙行できたことを、嬉しく思います。

介護の仕事は、介護を必要とするお一人おひとりに寄り添い、その人らしい生活に向けた支援を通して、その方の生きる喜びと一緒に作り出していく仕事です。

また、普段の会話やふれあい、お互いの何気ない心遣いを通じて、感謝ややりがい、感動が生まれる魅力ある仕事です。

介護を必要とする人、介護に携わる人を社会全体で支え合うために、介護の仕事の魅力を、より一層多くの方々に知っていただき、介護の仕事への理解が進んでいくことを願っています。

この作品集は、介護現場の様々な場面を通じた仕事の醍醐味にあふれています。作品を通して、介護の仕事の素晴らしさを改めて感じていただければ大変嬉しく思います。

皆さんとともに介護の仕事が笑顔の「介護文化」として定着し、この作品集をお読みいただいた方々に介護の仕事の魅力を感じていただければ幸いです。

大信産業株式会社
看護小規模多機能みのり大岡
梅澤 律子様

Aさんは退院後に看多機を利用することになりました。無表情で目線が合わず、自宅に帰ることを望んでいない様子。高齢の母親と二人暮らし、失語、右麻痺、要介護4、高次脳機能障害。毎日看多機に通いながら時々宿泊・・・無表情ながらも少し緊張が解けてきたのは1ヶ月が過ぎた頃でした。レクリエーションで職員がしり取りを始めた時のこと。職員と利用者が漫才のような掛け合いをしながら進みます。「リンゴ」「ゴリラ」「ラッパ」→「はい、Aさんの番！」と職員が振るとAさんの弾けるような笑顔。「アッ、Aさんが笑った！」周りの全員が驚き感動しました。

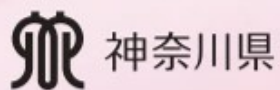
益々馴染んでいかれたAさん、「カフェオレにしますか？ココアにしますか？」→「コ・コ・ア」→「Aさんがしゃべった！」「Aさん、トーストのジャムは何にしますか？」→Aさんがマーマレードのカードを指すも職員は「いつもマーマレード、今日はチーズね。」→Aさん苦笑い。代弁させていただければ「じゃあ聞くなよ」。

節分の豆まき、鬼に扮した職員に紙を丸めて投げます。Aさんは無表情も目で鬼を追っていました。隣に座っていたBさんに職員が「Bさん、鬼より奥さんが怖いよね(失礼ですが)」と言うと皆の笑い声とAさんの大きな笑顔。

Aさんと共に生活する中で楽しい時間が持てるようになったことは、私たちにとっては何もののにも勝る宝物です。

Aさんが笑った！その笑顔大切にします。

※看多機・・・看護小規模多機能型居宅介護事業所



かながわ感動介護大賞実行委員会

福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 TEL.045-210-1111 (内線:4837)



ともに生きる社会

かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society



instagram ID : かながわ憲章【公式】

かながわ憲章

検索



受賞作品の
ドキュメンタリー動画を
Webで公開しています



神奈川県
「認知症の人と
家族を支えるマーク」

